

合浦公園石碑等に対する新たな紹介方法の導入の検討に関する請願

令和 6 年 2 月 22 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市筒井 4-15-7

渋谷 清光

紹介議員 小豆畑 緑

里村 誠悦

奈良 祥孝

(請願の趣旨)

合浦公園は、明治 27 年（1894 年）に開園され、今年で開園 130 周年を迎えるほか、平成元年（1989 年）には日本の都市公園 100 選に選出され、35 年を迎えるなど記念すべき年となっている。

公園内には多くの石碑や記念植樹の松などが配置され、児童・生徒の遠足での利用など訪れる老若男女の市民の憩いの場所でもある。また、あおもり健康づくりリーダー会も市民の健康維持増進を目的に石碑巡りウォークを実施している公園でもある。

しかしながら、設置されているこれら石碑等のほとんどが風化するなどし、その碑文などを読み取ることができないほか、読み取れたとしても旧字体で一般市民にはよく理解できない現状にある。

また、園内案内板や公園マップを見ると、一部には記念碑や句碑などと簡単に紹介されており、具体的内容はあまり理解できない状況である。

以上のような現状を踏まえ、公園を訪れ、これら石碑等をより身近に感じることができ何らかの方法、例えば、二次元コードや音声ガイドシステムの導入などについて、開園 130 周年などを契機とし、効果的な紹介方法を検討されるよう請願する。

なお、碑文を紹介するに当たっては、「合浦の碑」（昭和 30 年 3 月青森市教育委員会発行）や「合浦公園の碑文」（昭和 12 年青森県師範学校発行の郷土号第 4 号）を参考にできるものと考えている。

(請願事項)

合浦公園石碑等の新たな紹介方法の導入について検討すること。